

モンゴル経済概況 (2013 年 5 月)

2013 年 5 月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5181

E-mail：ORG@jetro.go.jp

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

アンケート返送先 FAX : 03-3582-5309
e-mail : ORG@jetro.go.jp
日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛



● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：モンゴル経済概況（2013年5月）

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	☐ 企業・団体	会社・団体名
	☐ 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

< 目 次 >

1. 政治・外交動向	1
(1) 国内	1
①【閣議】第 16 回定例閣議	1
②【閣議】第 17 回定例閣議	1
③【閣議】第 18 回定例閣議	1
④【閣議】第 19 回定例閣議	2
(2) 外交・国際	3
①【トルコ】トルコのエルドアン首相がモンゴルを公式訪問	3
②【国際】民主主義共同体がウランバートルで開催	3
③【タイ】タイのインラック首相がアルタンホヤグ首相と会談	3
④【欧州】欧州規格をモンゴルへ導入	3
2. 経済動向	5
(1) マクロ経済	5
①【GDP】第 1 四半期の実質 GDP 成長率(速報値)は前年同期比 7.2%増	5
②【インフレ・CPI】4月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 10.4 ポイント上昇	5
③【マネーサプライ】M2は前年同期比 13.1%増	7
④【貸付残高】貸付残高は前年同期比 30.8%増、不良債権残高は同 1.9%減	9
⑤【金利】トゥグルク金利は前月比 0.5 ポイント上昇の 19.6%	10
⑥【財政収支】1～4月の財政収支は 1,360 億トゥグルクの黒字	11
(2) 貿易・投資	12
①【貿易統計】1～4月の貿易収支は5億 2,830 万ドルの赤字	12
②【外貨準備高】外貨準備高は 30 億 7,730 万ドル	15
③【為替】対ドルではトゥグルク安、対円ではトゥグルク高	15
(3) 産業	16
①【工業生産】1～4月期の工業生産は前年同期比 3.0%増加	16
②【ホテル・外食産業】ホテル業は前年同期比 14.3%増収、外食業は同 4.3%減収	17
③【卸売・小売業】総売上高は前年同期比 7.3%減	19
3. 社会動向	20
(1) 社会統計	20
①【保健・医療】伝染病感染者数は前年同期比 5.6%減	20
4. 2013 年 7～10 月の予定	21

(注) 図表の数値は四捨五入しているため、文中で示す数値とは必ずしも一致しない。

1. 政治・外交動向

(1) 国内

①【閣議】第 16 回定例閣議

第 16 回定例閣議が 4 月 6 日に開催され、トルコとの経済・貿易に関する政府間協力計画について審議・承認されるとともに、関係閣僚に指示が出された。

3 月 27、28 日にトルコのアンカラ市で行われた「第 7 回経済・貿易に関するモンゴル・トルコ政府間合同委員会」の結果を受けたもので、実施計画として建設、都市計画、道路・運輸、エネルギー、貿易、投資、経済、技術、防衛、農業、軽工業、自然環境、観光など多くの分野で協力することが盛り込まれた。

②【閣議】第 17 回定例閣議

第 17 回定例閣議が 4 月 13 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・年利 8% の住宅ローン規則を承認

2012 年末時点で、ウランバートル市の人口の約 40% がアパートに、残りがゲル地区で居住している。政府はアパートの供給を促進するとともに、資金調達の安定的な仕組みを実現することで、国民がアパートに居住できるよう、バトバヤル経済開発大臣、バヤルサイハン建設・都市計画大臣に指示した。

具体的には、床面積 80 平方メートル以下の新築または中古アパートの購入申請を行い、頭金の 10～30% を支払った国民に対し、年利 8%（±1%）、期間 20 年以下の住宅ローンを適用する規則を承認し、住宅ローンをすべての市中銀行を通じて国民に販売することとした。

・製造分野に支援融資

国内製造業者を支援する目的で、軽減融資の提供を閣議決定した。

具体的には、乳製品、農業用温室、羊毛工場、縫製工場などに対し、機械設備の更新の際の頭金として、資金の 3 分の 1 を上限として 4 年半の期間で融資することをバトバヤル経済開発大臣に指示した。

③【閣議】第 18 回定例閣議

第 18 回定例閣議が 4 月 20 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・2014～16 年度予算案を国会に上程

2014～16 年度予算案が承認され、国会に上程されることになった。公的機関の数および経常支出や補助金は増やさず、チンギス国債（＝「チンギスボンド」。外国

人投資家向けに発行する国債）や開発銀行、地方開発基金の資金を適切に配分するよう予算委員長らに指示した。

中期予算枠の報告によると、銅、金、鉄鉱石、原油の生産の拡大や、政府の支援策により、2013年の経済成長率は16.0%を見込んでいる。また、予算規模は2014年に7兆2,700億トゥグルク、2015年に8兆2,106億トゥグルク、2016年に9兆4,569億トゥグルクになると見込んでいる。一方、インフレ率は中期的には安定し、2014～16年は6%程度になると見込んでいる。

・オユトルゴイプロジェクトの建設作業を加速

オユトルゴイの精錬工場が供用を開始することで、2013年6月からは製品の輸出を計画している。この計画に間に合わせるべく、プロジェクトの作業を加速する決定が出された。

プロジェクトの遂行に必要な土地の占有権・利用権の認可、オユトルゴイ - ガシェーンズハイト間の道路、外国人労働者の使用許可、精錬物の税関登録、環境への影響、給水、発電所、品質検査施設、インフラの測量用GPS座標など、直面する数々の問題を迅速に処理するようガンホヤグ鉱業大臣に指示した。

④【閣議】第19回定例閣議

第19回定例閣議が4月27日に開催され、中国・天津港に「海への出口」を確保し、貿易を促進するための対策が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

具体的には、モンゴル鉄道国有会社は中国との共同物流プロジェクトの枠内で、天津自由貿易区東疆保税港区内の10ヘクタールの土地を50年間、中国と共同で管理・使用する権利を購入する。これに当たり必要となる資金は、モンゴル銀行と道路・運輸省が共同で実施している「日用品価格安定化」サブプログラムの枠内で手当てする。

モンゴルから最も近い港は天津港で、モンゴルの輸出入貨物の70%以上が同港を経由している。

(2) 外交・国際

①【トルコ】トルコのエルドアン首相がモンゴルを公式訪問

トルコのエルドアン首相が4月11～12日にモンゴルを公式訪問し、アルタンホヤグ首相と会談した。

会談でモンゴル側は、アパート建設、道路・橋の建設、皮革工業団地の建設、観光開発などの分野でのトルコの協力を求めた。トルコ側は前向きに回答するとともに、エネルギー分野での協力の用意もあると表明した。

共同記者会見においては、安全保障分野での協力、2013～16年文化・教育・科学交流プログラム、両国民のビザなし渡航に関する覚書などに署名した。

②【国際】民主主義共同体がウランバートルで開催

モンゴル政府主催による第7回民主主義共同体閣僚級会合が4月29日、ウランバートル市で開催された。同会合には世界104カ国・地域の政府関係者、国際連合、EUなどの国際機関、市民団体の代表者など約1,200人が参加し、民主主義促進のための協力や今後の取り組みについて議論を行った。

会議の最後には、人権・民主主義や法の支配の普遍性を確認する内容の「ウランバートル宣言」を採択した。

③【タイ】タイのインラック首相がアルタンホヤグ首相と会談

アルタンホヤグ首相の招待で4月27～29日にモンゴルを初めて訪問したタイのインラック首相は、第7回民主主義共同体閣僚級会合の開会式に来賓として出席した。

インラック首相はエルベグドルジ大統領、エンフボルド国会議長を表敬するとともに、アルタンホヤグ首相と会談した。

会談の際、双方は「モンゴル・タイ政府間委員会設立に関する覚書」「モンゴル教育科学省、タイ科学技術省間の科学技術分野の協力に関する協定」「モンゴル商工会議所、タイ通商・工業・銀行共同の常設委員会の相互理解に関する覚書」にそれぞれ署名し、両国間の貿易額を今後3年間で倍増する目標を掲げるとともに、その実現に向けた「モンゴル・タイ貿易・経済協力協定」を近日中に締結することで合意した。

また、アルタンホヤグ首相はタイの投資家に対し、今後鉱山、農業、食品、医療、観光、エネルギーなどの分野での投資を歓迎すると呼びかけた。

その他、双方は両国の技術協力、文化交流、地域安全保障、国際舞台での協力について合意した。

④【欧州】欧州規格をモンゴルへ導入

モンゴルのボルド外相は4月30日、第7回民主主義共同体閣僚級会合出席のためモンゴルを訪問中のEUのアシュトン外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長と会談した。

会談の際、双方は「パートナーシップと協力に関する協定」「モンゴルの規格化システム作成支援」プロジェクトについての融資契約にそれぞれ署名した。「パートナーシップと協力に関する協定」の締結により、モンゴルは EU 加盟 27 カ国との協力関係を新たな段階に進める。また、「モンゴルの規格化システム作成支援」プロジェクトを推進することで、モンゴルは欧州規格の採用に向けて注力する。

(出所：モンゴル政府官房、モンゴル国会、モンゴル外務省の各ウェブサイト)

2. 経済動向

(1) マクロ経済

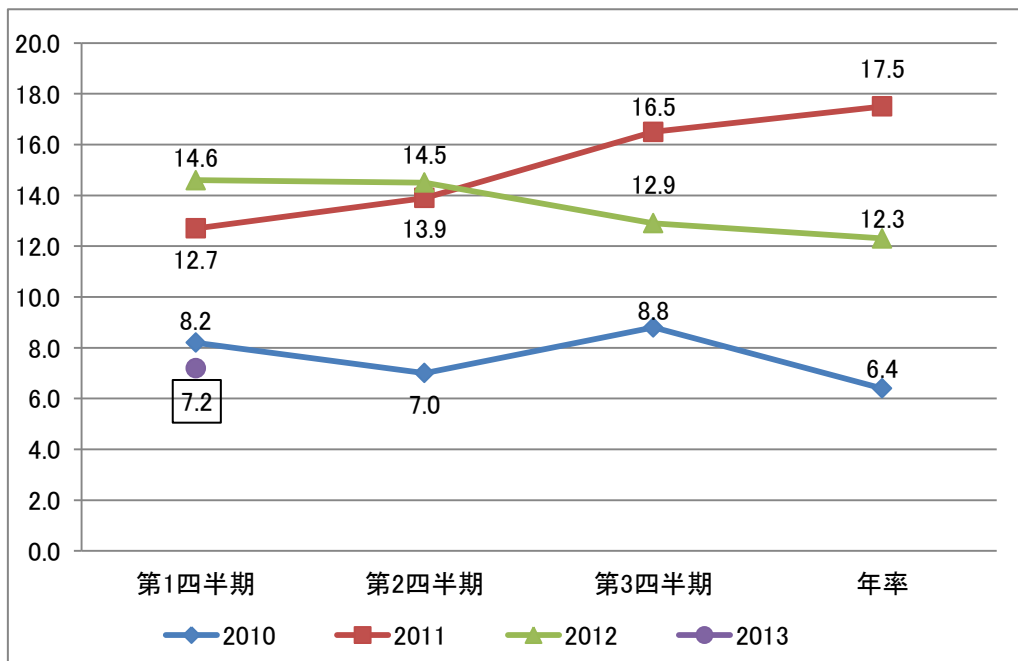
①【GDP】第1四半期の実質 GDP 成長率(速報値)は前年同期比 7.2%増

2013 年第 1 四半期の実質 GDP 成長率（速報値、以下同様）は前年同期比 7.2%増、名目 GDP は 2 兆 8,938 億トウグルクだった（図 1 参照）。

実質 GDP 成長率を業種別にみると、農牧業が 22.0%、工業・建設業が 7.2%、サービス業が 5.4%、それぞれ前年同期比で増加した。

(図1)実質 GDP 成長率の推移

(単位: %)



(注 1)2013 年の成長率のみ枠線で表示。

(注 2)第 2 四半期以降の成長率は 1 月からの累計。

(注 3)2013 年第 1 四半期は速報値

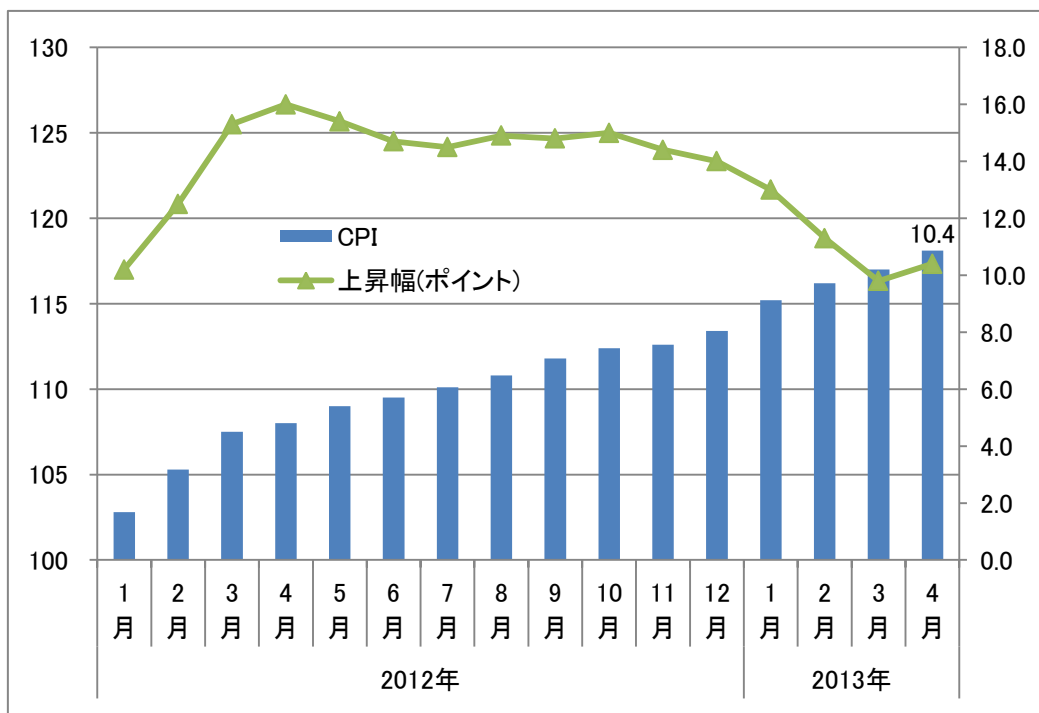
(出所)国家統計局月報

②【インフレ・CPI】4月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 10.4 ポイント上昇

4 月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比で 10.4 ポイント（前月比では 1.1 ポイント）上昇した（図 2、表 1 参照）。

品目別では、アルコール・タバコが 50.5 ポイント、教育が 15.2 ポイント、レストラン・ホテルが 14.2 ポイント、被服および履物が 12.0 ポイント、住居・水道が 10.8 ポイント、それぞれ前年同月比で上昇した。一方、郵便・通信は同 1.1 ポイント下落した（表 2 参照）。

(図2)消費者物価指数(CPI)の推移 (左軸:CPI、右軸:前年同月比上昇幅)



(出所)国家統計局月報

(表1)消費者物価指数(CPI)の推移

	2012 年								2013 年			
	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
消費者物価指数 (CPI)	109.0	109.5	110.1	110.8	111.8	112.4	112.6	113.4	115.2	116.2	117.0	118.1
前月比	1.0	0.5	0.6	0.7	1.0	0.6	0.2	0.8	1.8	1.0	0.8	1.1
前年同月比	15.4	14.7	14.5	14.9	14.8	15.0	14.4	14.0	13.0	11.3	9.8	10.4

(注1)消費者物価指数(CPI)は2012年初を100とする。

(注2)前月比、前年同月比は上昇幅(ポイント)。

(出所)国家統計局月報

(表2)品目別の消費者物価指数(CPI)上昇幅

(単位:ポイント)

品目名	前年同月比		前月比	
	3月	4月	3月	4月
食料品	7.8	9.9	1.8	2.7
アルコール・タバコ	50.4	50.5	0.2	0.5
被服および履物	13.4	12.0	0.5	0.7
住居・水道	11.1	10.8	Δ 0.4	0.3
家具・日用品	9.6	9.4	1.0	0.5
保健医療	8.2	8.1	1.9	0.3
交通・輸送	3.2	5.2	0.3	0.0
郵便・通信	Δ 1.0	Δ 1.1	0.0	0.0
娯楽	0.9	0.6	0.0	0.3
教育	15.2	15.2	0.0	0.0
レストラン・ホテル	15.5	14.2	1.9	0.8
その他の商品・サービス	6.1	6.4	0.8	0.6

(出所)国家統計局月報

③【マネーサプライ】M2は前年同期比 13.1%増

4月末時点の通貨供給量(M2)は前年同期比 13.1%増(前月比 1.3%減)の7兆1,975億トゥグルクだった(表3、図3参照)。

(表3)マネーサプライの推移

(単位:億トゥグルク、%)

	2012年4月末	2013年3月末	2013年4月末
通貨供給量(M2)	63,629	72,937	71,975
前年同期比	18.9	19.5	13.1
前月比	4.2	0.8	Δ1.3
総預金	39,810	48,801	46,929
前年同期比	23.5	30.3	17.9
前月比	6.3	Δ1.5	Δ3.8
トゥグルク預金	29,814	36,925	36,634
前年同期比	26.2	23.9	22.9
前月比	0.0	Δ0.1	Δ0.8
外貨預金	9,996	11,876	10,295
前年同期比	16.3	55.1	3.0
前月比	30.6	Δ5.5	Δ13.3

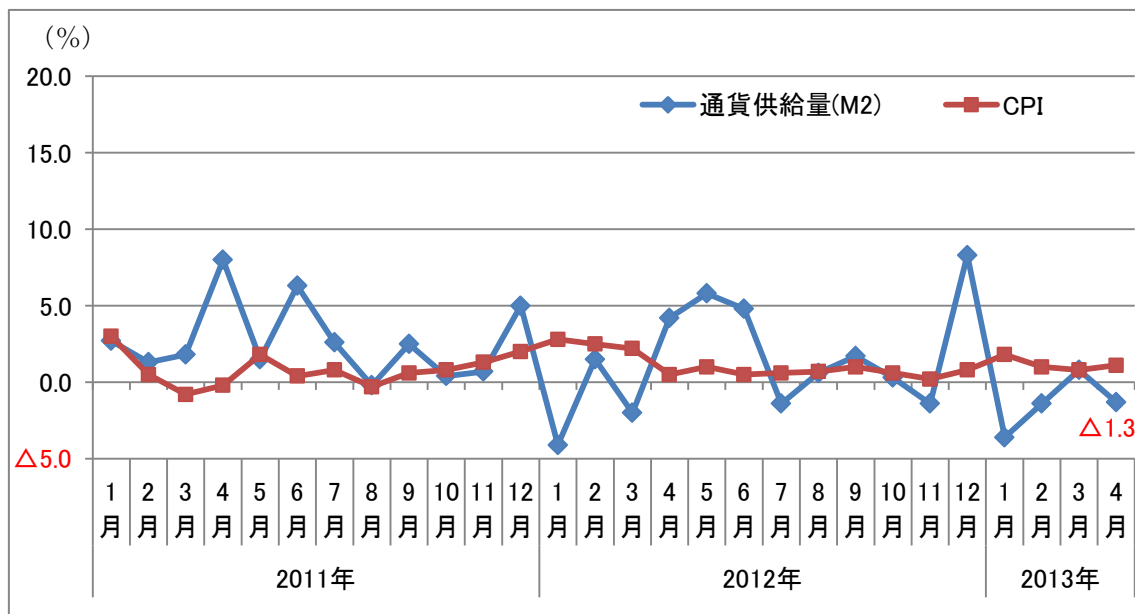
(出所)国家統計局月報

なお、総預金は前年同期比 17.9%増（前月比 3.8%減）の 4 兆 6,929 億トウグルク、
トウグルク預金は前年同期比 22.9%増（前月比 0.8%減）の 3 兆 6,634 億トウグルク、
外貨預金は前年同期比 3.0%増（前月比 13.3%減）の 1 兆 295 億トウグルクだった。

マネーサプライの構成比は、トウグルク預金が 50.9%、トウグルク当座が 15.8%、
外貨預金が 14.3%、外貨当座が 11.6%、現金が 7.4%だった。前年同期比で、トウグル
ク預金は 4.0 ポイント増加し、トウグルク当座は 1.4 ポイント、外貨預金は 1.4 ポイン
ト、外貨当座は 0.8 ポイント、現金は 0.4 ポイント減少した（図 4 参照）。

（図3）貨幣供給量(M2)と消費者物価指数(CPI)の前月比伸び率

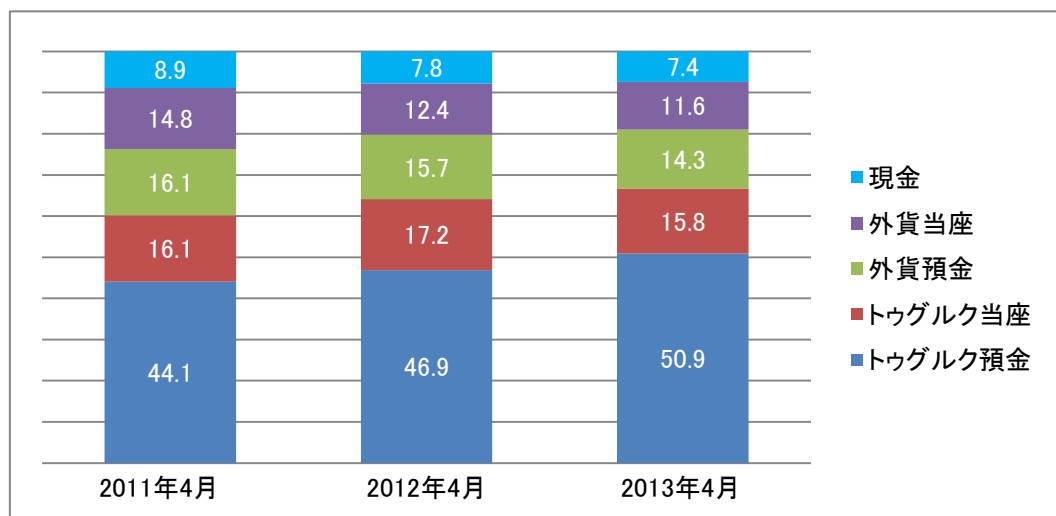
（単位：％）



（出所）国家統計局月報

（図4）マネーサプライの構成比

（単位：％）



（出所）国家統計局月報

④【貸付残高】貸付残高は前年同期比 30.8%増、不良債権残高は同 1.9%減

4 月末時点の貸付残高は前年同期比 30.8%増（前月比 5.2%増）の 7 兆 7,640 億トゥグルクだった（表 4 参照）。

貸付先ごとにみると、民間セクターに 4 兆 2,155 億トゥグルク（構成比 54.3%）、個人に 3 兆 4,968 億トゥグルク（同 45.0%）、公的機関に 305 億トゥグルク（同 0.4%）、金融機関に 111 億トゥグルク（同 0.1%）、その他の機関に 101 億トゥグルク（同 0.1%）がそれぞれ貸し出されている。

不良債権残高は、前年同期比 1.9%減（前月比 0.6%増）の 3,105 億トゥグルクだった（図 5 参照）。不良債権比率は 4.0%と、前年同期比で 1.3 ポイント、前月比で 0.2 ポイント減少した。

期限超過債権残高は前年同期比 55.8%増（前月比 11.0%増）の 1,109 億トゥグルクだった。期限超過債権比率は 1.4%と、前年同期比で 0.2 ポイント増加した。

なお、市中銀行の総資産は前年同期比 36.3%増（前月比 0.4%増）の 11 兆 7,000 億トゥグルクだった。

（表4）貸付残高の推移

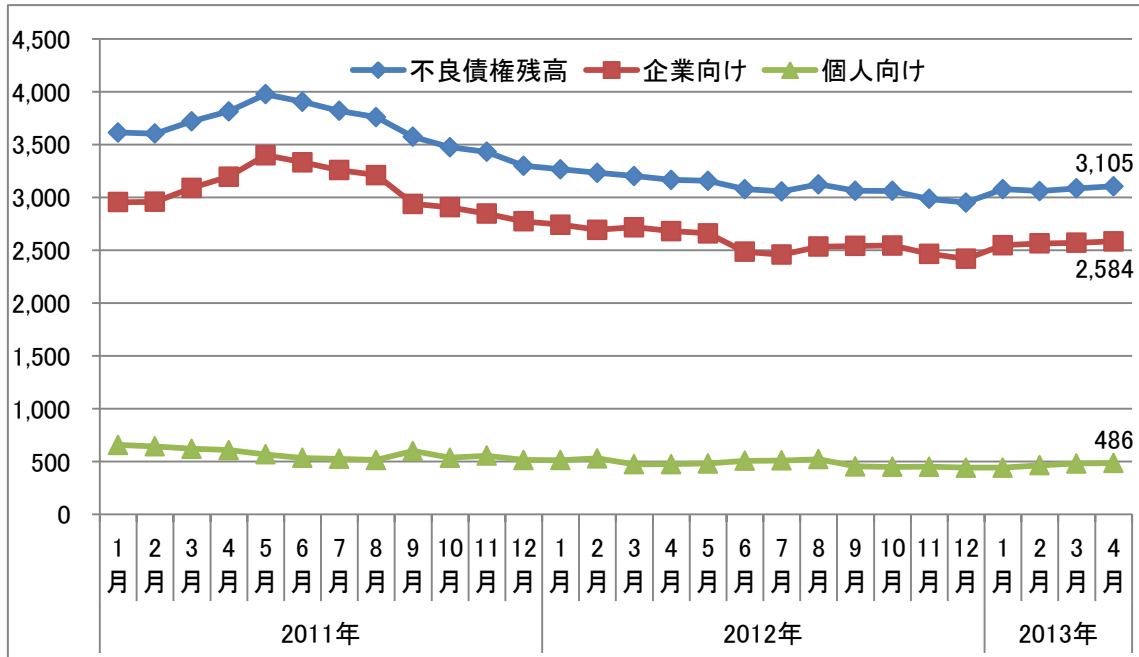
（単位：億トゥグルク、%）

	2012 年 4 月	2013 年 3 月	2013 年 4 月
貸付残高	59,360	73,836	77,640
前年同期比	49.4	27.7	30.8
前月比	2.7	3.0	5.2
不良債権残高	3,166	3,086	3,105
前年同期比	Δ17.0	Δ3.6	Δ1.9
前月比	Δ1.1	0.9	0.6
期限超過債権残高	712	999	1,109
前年同期比	Δ13.4	62.7	55.8
前月比	16.0	Δ9.9	11.0
不良債権比率	5.3	4.2	4.0
期限超過債権比率	1.2	1.4	1.4

（出所）国家統計局月報

(図5)不良債権残高の推移

(単位:億トゥグルク)



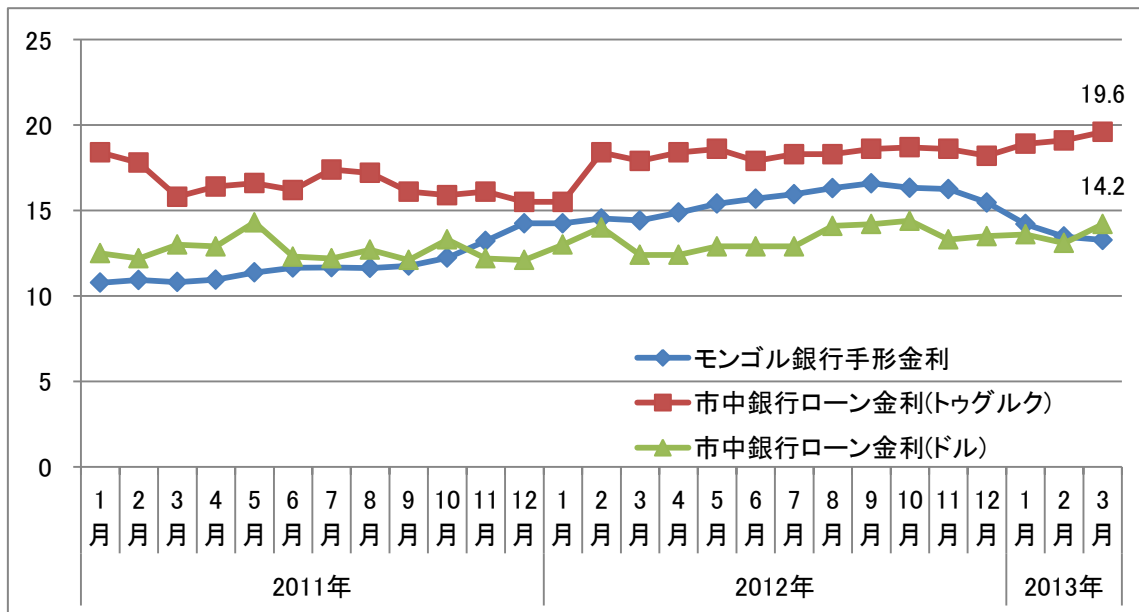
(出所)国家統計局月報

⑤【金利】トゥグルク金利は前月比 0.5 ポイント上昇の 19.6%

3 月末時点の銀行ローン金利（年利）は、トゥグルクが前月比 0.5 ポイント上昇（前年同月比 1.7 ポイント上昇）の 19.6%、ドルは前月比 1.1 ポイント上昇（前年同月比 1.8 ポイント上昇）の 14.2%だった（図 6 参照）。

(図6)銀行ローン金利の推移(年利)

(単位: %)



(出所)国家統計局月報

⑥【財政収支】1～4月の財政収支は 1,360 億トゥグルクの黒字

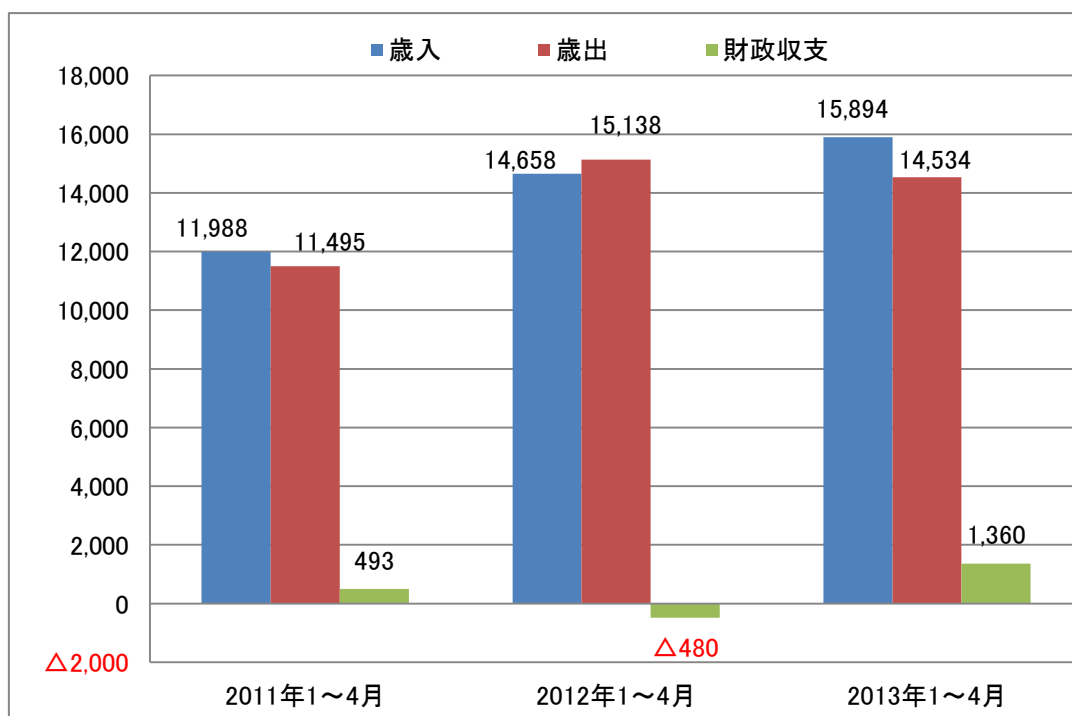
1～4月の歳入および外国からの援助は前年同期比 8.4%増の 1 兆 5,894 億トゥグルク、歳出および返済は同 4.0%減の 1 兆 4,534 億トゥグルク、財政収支は 1,360 億トゥグルクの黒字だった（図 7 参照）。

歳入および外国からの援助の内訳をみると、税収が 88.4%（前年同期比 0.2 ポイント増）、税以外の収入が 10.4%（同 0.5 ポイント減）、財政安定化基金からの収入が 1.2%（同 0.3 ポイント増）、資産からの収入が 0.0%（変化なし）を占めた。

歳出および返済の内訳をみると、経常支出が 92.8%（同 11.4 ポイント増）、資本支出が 7.2%（同 9.7 ポイント減）、返済が 0.0%（同 1.7 ポイント減）を占めた。

（図 7）財政収支の状況

（単位：億トゥグルク）



（出所）国家統計局月報

(2)貿易・投資

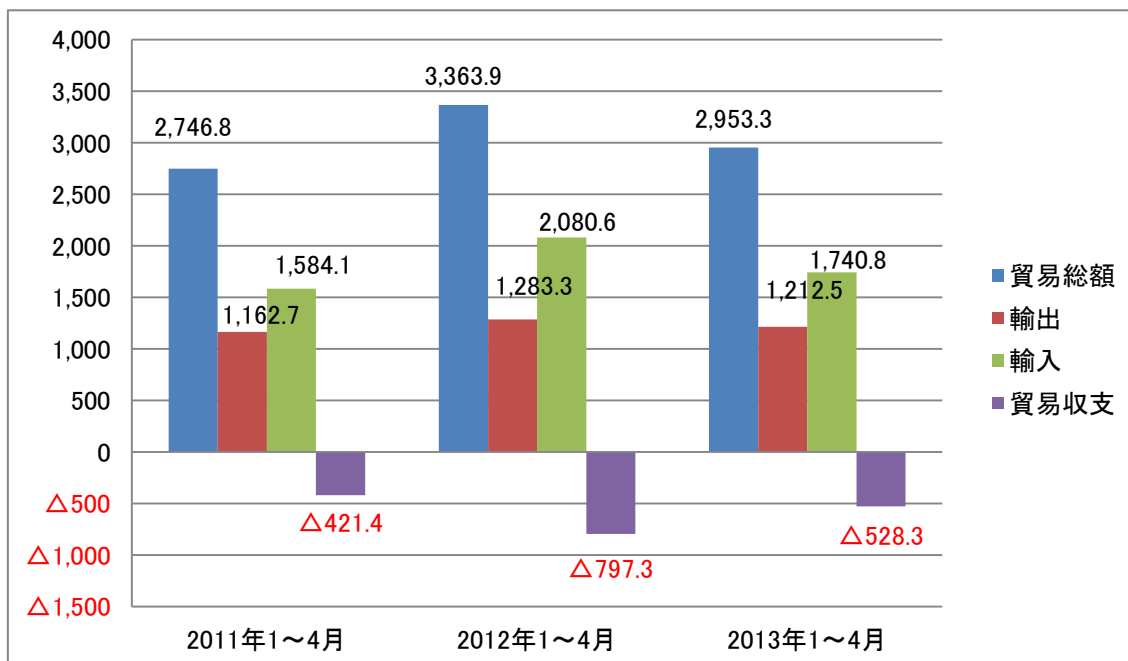
①【貿易統計】1～4月の貿易収支は5億 2,830 万ドルの赤字

1～4月のモンゴルの貿易総額は前年同期比 12.2%減の 29 億 5,330 万ドル、うち輸出は同 5.5%減の 12 億 1,250 万ドル、輸入は同 16.3%減の 17 億 4,080 万ドルだった。貿易収支は 5 億 2,830 万ドルの赤字となった（図 8 参照）。

貿易相手先は 108 カ国・地域にのぼった。シェアを見ると、中国が 50.0%（前年同期比 0.1 ポイント減）、ロシアが 15.6%（同 3.3 ポイント減）、その他が 34.4%（同 3.4 ポイント増）を占めた。

(図8)貿易額および貿易収支の推移

(単位:100 万ドル)



(出所)国家統計局月報

<輸出の 90.3%が中国向け>

輸出相手先は 46 カ国・地域にのぼる。輸出総額に占めるシェアは、中国が 90.3%、カナダが 4.5%、ロシアが 1.4%、英国およびイタリアがともに 0.6%、その他が 2.6% だった（図 9 参照）。

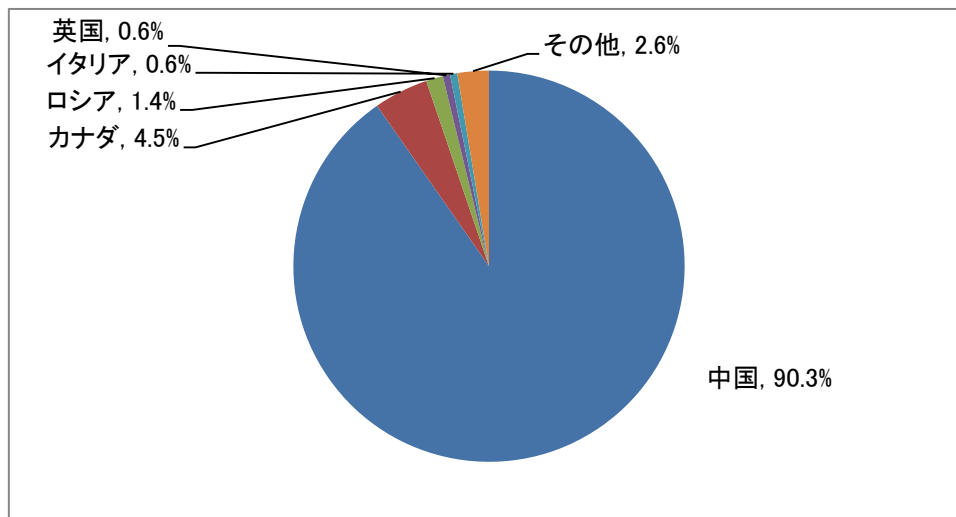
主要輸出品目は、鉱物資源・同製品、宝石・貴金属、テキスタイル、皮革・毛皮原料などで、これら 4 品目が輸出総額の 97.3%を占める（表 5 参照）

このうち鉱物製品の内訳をみると、石炭が 27.9%（前年同期比 17.3 ポイント減）、粗銅が 22.8%（同 1.8 ポイント増）、鉄鉱石が 18.4%（同 7.4 ポイント増）、原油が 11.1%（同 3.1 ポイント増）、未精錬または半精錬の金が 4.5%（同 2.4 ポイント増）、亜鉛鉱石が 3.9%（同 0.9 ポイント増）、蛍石が 1.7%（同 0.3 ポイント減）、その他の製品が

9.7%（同 2.0 ポイント増）となっている。なお、数量ベースの輸出量は表 6 に示した通りである。

（図9）輸出相手先のシェア

（単位：％）



（出所）国家統計局月報

（表5）輸出総額に占める品目別のシェア

（単位：％）

	2011 年 1 ～ 4 月	2012 年 1 ～ 4 月	2013 年 1 ～ 4 月
鉱物資源・同製品	88.5	92.0	87.6
宝石・貴金属	3.8	2.1	4.5
テキスタイル	4.3	3.5	3.8
皮革・毛皮原料	1.6	1.0	1.4
その他	1.8	1.4	2.7

（出所）国家統計局月報

（表6）鉱物製品の輸出量（数量ベース）（単位：1,000トン、金はトン、原油は 1,000 バレル）

	2011 年 1～4 月	2012 年 1～4 月	2013 年 1～4 月
石炭	4,678.4	5,332.7	5,007.3
鉄鉱石	1,541.3	1,977.5	1,933.1
原油	685.2	1,007.7	1,420.6
粗銅	187.3	186.0	186.5
蛍石	128.7	118.9	85.6
亜鉛鉱石	49.1	39.6	47.5
金（未精錬・半精錬）	1.1	0.6	1.3
その他	2.1	2.1	2.1

（出所）国家統計局月報

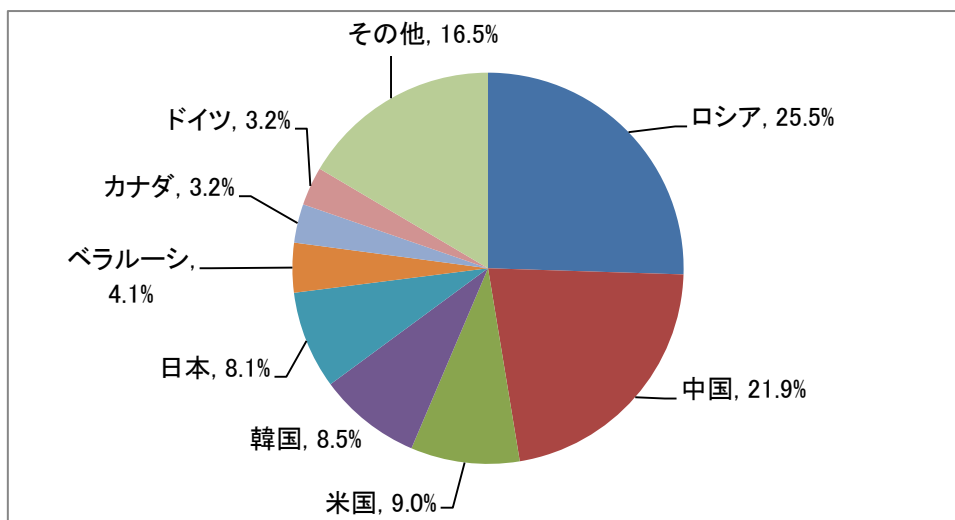
＜輸入の約半分をロシア、中国に依存＞

輸入相手先は107カ国・地域にのぼる。輸入総額に占めるシェアは、ロシアが25.5%、中国が21.9%、米国が9.0%、韓国が8.5%、日本が8.1%、ベラルーシが4.1%、カナダが3.2%、ドイツが3.2%、その他が16.5%だった（図10参照）。

輸入総額に占める品目別のシェアは、鉱物製品が26.6%、機械設備・電機製品および同部品が23.3%、自動車・航空機および同部品が18.9%、食品が6.2%、その他の製品が25.0%だった。（図11参照）。

（図10）輸入相手先のシェア

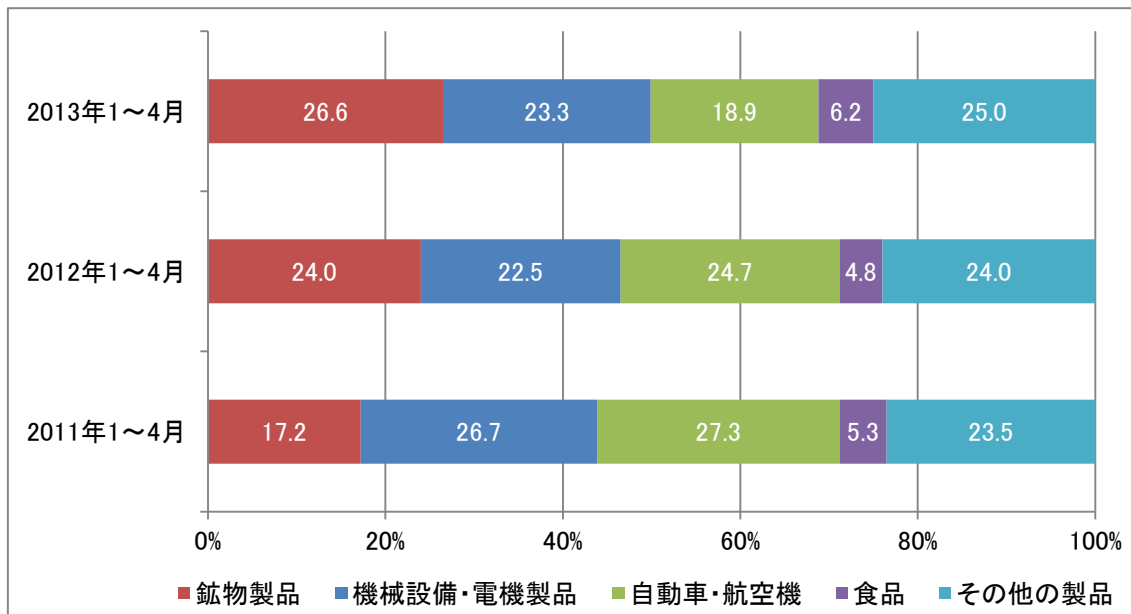
（単位：％）



（出所）国家統計局月報

（図11）輸入総額に占める品目別のシェア

（単位：％）



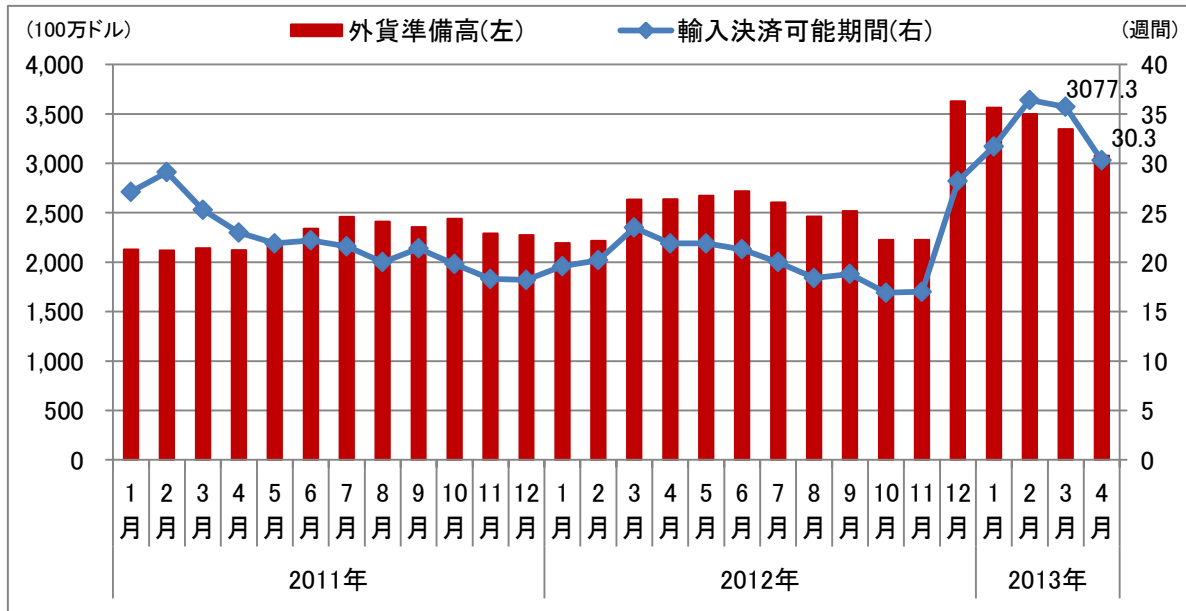
（出所）国家統計局月報

②【外貨準備高】外貨準備高は 30 億 7,730 万ドル

4 月末時点の外貨準備高は、前年同期比 4 億 4,160 万ドル増、前月比 2 億 7,030 万ドル減の 30 億 7,730 万ドルとなった。これは、モンゴルの輸入決済の 7.6 カ月分 (30.3 週間分) の金額にあたる (図 12 参照)。

(図 12) 外貨準備高の推移

(左軸: 外貨準備高、右軸: 決済可能期間)



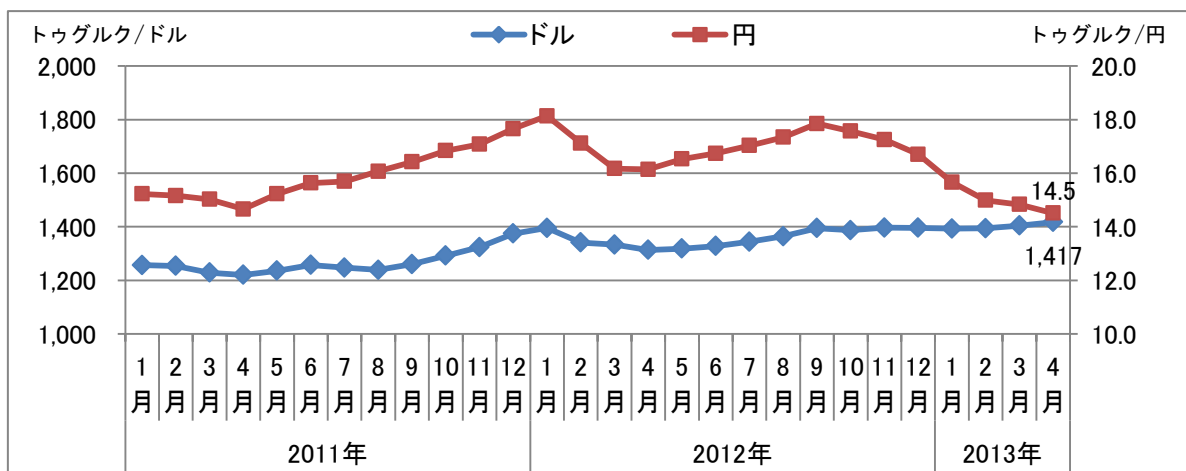
(出所) 国家統計局月報

③【為替】対ドルではトゥグルク安、対円ではトゥグルク高

4 月の期中平均レートは、対ドルは 1,417 トゥグルク、対円は 14.5 トゥグルクだった。前月に比べ、対ドルではトゥグルク安、対円ではトゥグルク高となった (図 13 参照)。

(図 13) 為替レートの推移

(左軸: 対ドル、右軸: 対円)



(出所) モンゴル銀行

(3)産業

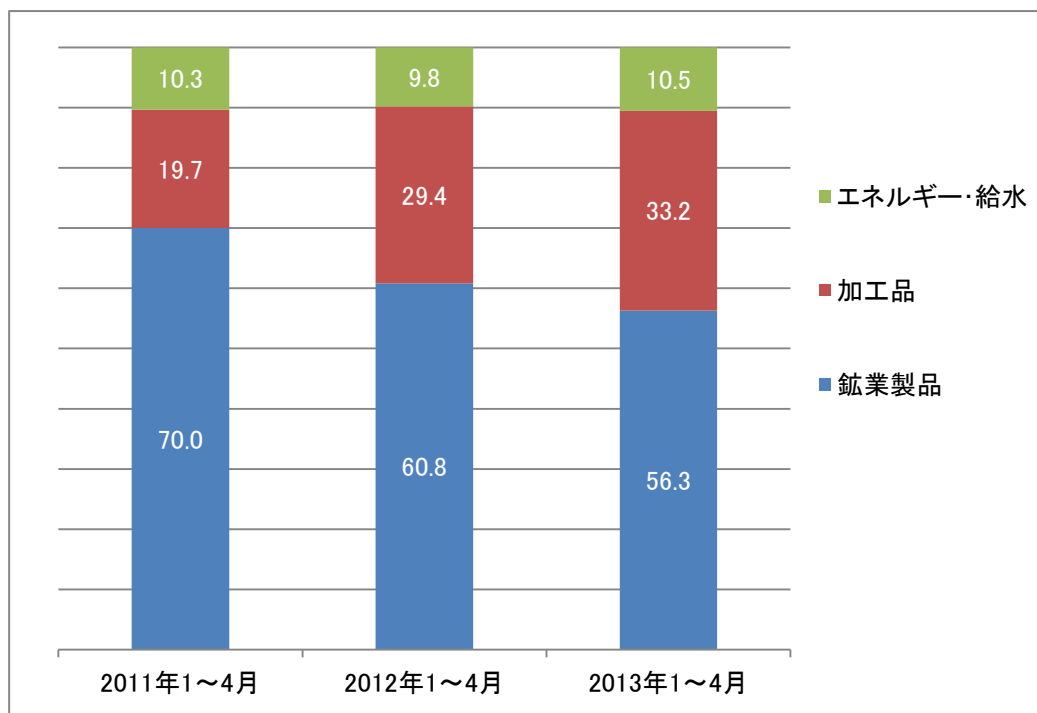
①【工業生産】1～4月期の工業生産は前年同期比 3.0%増加

1～4月期の工業生産は、前年同期比 3.0%増の 6,825 億トウグルクだった（2005 年物価換算）。

なお、工業生産品の総売上高は時価 1 兆 8,457 億トウグルクで、このうち鉱業製品が 56.3%（前年同期比 4.5 ポイント減）、加工品が 33.2%（同 3.8 ポイント増）、エネルギー・給水が 10.5%（同 0.7 ポイント増）を占めた（図 14 参照）。

（図 14）工業生産品の売上高に占める品目別シェア

（単位：%）



（出所）国家統計局月報

②【ホテル・外食産業】ホテル業は前年同期比 14.3%増収、外食業は同 4.3%減収

3 月末時点におけるホテル分野の企業数（実際に営業している企業）は 288 社にのぼり、これらの企業の 1 ～ 3 月期の総収入は前年同期比 14.3%増の 138 億 5,150 万トウグルクだった。

総収入をホテルのランク別にみると、一般ホテルが同 5.8%増の 45 億 2,510 万トウグルク、二つ星ホテルが同 8.6%減の 6 億 9,770 万トウグルク、三つ星以上のホテルが同 21.9%増の 86 億 2,870 万トウグルクだった（表 7 参照）。

1 室当たりの平均収入は前年同期比 2.7%増の 253 万 900 トウグルクだった。ランク別では、一般ホテルが同 4.4%減の 127 万 6,800 トウグルク、二つ星ホテルが同 23.4%減の 170 万 5,900 トウグルク、三つ星以上のホテルが同 10.2%増の 567 万 6,800 トウグルクだった（表 8 参照）。

（表 7）ホテル分野における収入および客室・宿泊者数の推移

項目	収入 (単位：100 万トウグルク)			客室数 (単位：室)			宿泊客数 (単位：人)		
	2011 年 1 ～ 3 月	2012 年 1 ～ 3 月	2013 年 1 ～ 3 月	2011 年 1 ～ 3 月	2012 年 1 ～ 3 月	2013 年 1 ～ 3 月	2011 年 1 ～ 3 月	2012 年 1 ～ 3 月	2013 年 1 ～ 3 月
一般	2,131.7	4,276.6	4,525.1	2,348	3,202	3,544	59,599	61,807	75,139
二つ星	147.7	763.4	697.7	117	343	409	3,815	10,030	7,224
三つ星以上	5,076.1	7,076.8	8,628.7	1,142	1,374	1,520	22,370	27,972	25,668
計	7,355.5	12,116.8	13,851.5	3,607	4,919	5,473	85,784	99,809	108,031

（出所）国家統計局月報

（表 8）ホテル業における平均収入の推移

項目	1 室当たりの平均収入 (1,000 トウグルク)			宿泊客 1 人当たりの平均収入 (1,000 トウグルク)		
	2011 年 1 ～ 3 月	2012 年 1 ～ 3 月	2013 年 1 ～ 3 月	2011 年 1 ～ 3 月	2012 年 1 ～ 3 月	2013 年 1 ～ 3 月
一般	907.9	1,335.6	1,276.8	35.8	69.2	60.2
二つ星	1,262.4	2,225.7	1,705.9	38.7	76.1	96.6
三つ星以上	4,444.9	5,150.5	5,676.8	226.9	253.0	336.2
計	2,039.2	2,463.3	2,530.9	85.7	121.4	128.2

（出所）国家統計局月報

3月末時点における外食分野の企業数（実際に営業している企業）は694社にのぼり、これらの企業の1～3月期における総収入は前年比4.3%減の335億6,000万トウグルクだった。このうち、レストランが同4.1%増の107億3,000万トウグルク、喫茶店が同1.8%減の26億8,000万トウグルク、バーが同25.6%増の15億2,000万トウグルク、大衆食堂が同20.9%増の35億8,000万トウグルク、宅配・ケータリングが同15.7%減の150億5,000万トウグルクだった（表9参照）。

1席当たりの平均収入は前年比4.9%減の60万9,500トウグルクだった。このうち、レストランが同10.9%減の88万6,100トウグルク、喫茶店が同8.2%減の42万1,300トウグルク、バーが同6.8%増の24万2,500トウグルク、大衆食堂が同11.8%増の63万5,700トウグルクだった。

（表9）外食分野における収入および客席数の推移

項目	収入 (単位：億トウグルク)			客席数 (単位：席)			1席当たりの平均収入 (単位：1,000トウグルク)		
	2011年 1～3月	2012年 1～3月	2013年 1～3月	2011年 1～3月	2012年 1～3月	2013年 1～3月	2011年 1～3月	2012年 1～3月	2013年 1～3月
レストラン	44.7	103.1	107.3	7,512	10,363	12,109	595.0	994.9	886.1
喫茶店	12.3	27.3	26.8	3,891	5,947	6,361	316.1	459.1	421.3
バー	8.4	12.1	15.2	4,339	5,327	6,269	193.6	227.1	242.5
大衆食堂	12.4	29.6	35.8	3,904	5,204	5,632	317.6	568.8	635.7
宅配・ケータリング	79.8	178.6	150.5	n.a	n.a	n.a	n.a	n.a	n.a
計	157.6	350.7	335.6	19,646	26,841	30,371	396.0	641.2	609.5

（出所）国家統計局月報

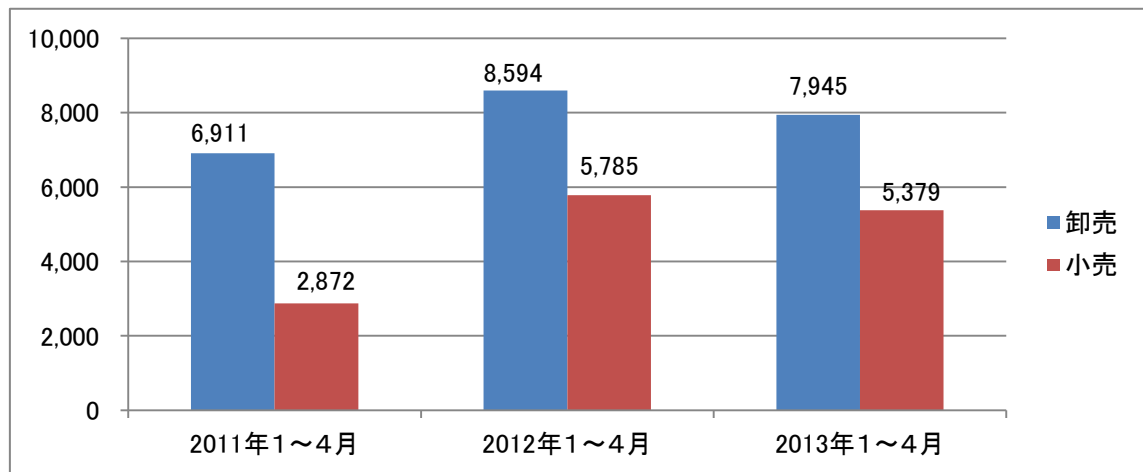
③【卸売・小売業】総売上高は前年同期比 7.3%減

4 月末時点にモンゴルで営業している企業数は 5 万 836 社にのぼり、このうち 38.3% にあたる 1 万 9,478 社が卸売・小売業者である。

卸売・小売業の 1～4 月における総売上高は、前年同期比 7.3%減の 1 兆 3,324 億トゥグルクだった。このうち、卸売業は同 7.6%減の 7,945 億トゥグルク、小売業は同 7.0%減の 5,379 億トゥグルクだった（図 15 参照）。

（図 15）卸売・小売業の総売上高の推移

（単位：億トゥグルク）



（出所）国家統計局月報

年間売上高が 50 億トゥグルク以上の企業の平均売り場面積は 4,359 平方メートル、年間売上高が 1 億トゥグルク以下の企業の平均売り場面積は 134 平方メートルだった。

1 平方メートル当たりの売上高でみると、年間売上高が 50 億トゥグルク以上の企業は 448 万トゥグルク、年間売上高が 1 億トゥグルク以下の企業は 23 万トゥグルクだった（表 10 参照）。

（表 10）卸売・小売業の年間売上高と売り場面積および単位面積当たりの売上高

年間売上高 (単位：億トゥグルク)	総売り場面積 (単位：平方メートル)	平均売り場面積 (単位：平方メートル)	1 平方メートル当たり の売上高 (単位：万トゥグルク)
1 以下	103,495	134	23
1～5	114,416	511	43
5～10	19,095	360	193
10～50	67,399	766	309
50 以上	226,653	4,359	448

（出所）国家統計局月報

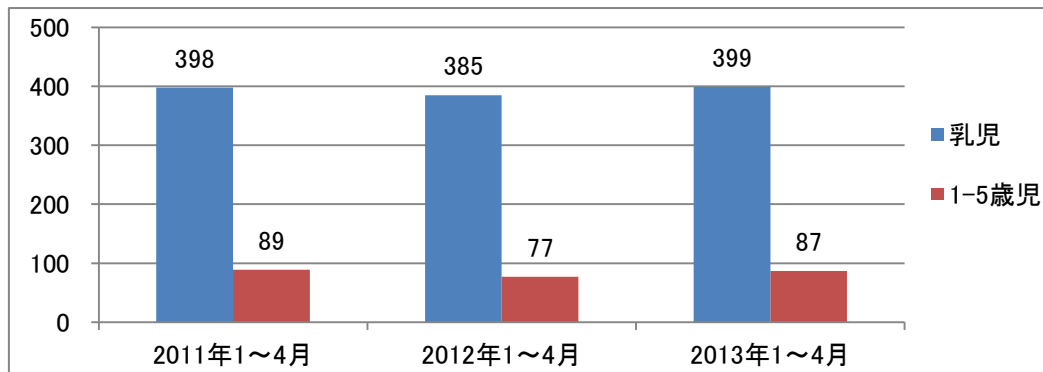
3. 社会動向

(1) 社会統計

①【保健・医療】伝染病感染者数は前年同期比 5.6%減

1～4月の出産件数は前年同期比 7.0%増の 2 万 5,559 件、実際に出生した人数は 2 万 5,685 人だった。同期間における乳児死亡者数は前年同月比 3.6%増の 399 人、1～5 歳児の死亡者数は同 13.0%増の 87 人だった（図 16 参照）。

(図 16) 乳児および1～5歳児の死亡件数 (単位: 人)

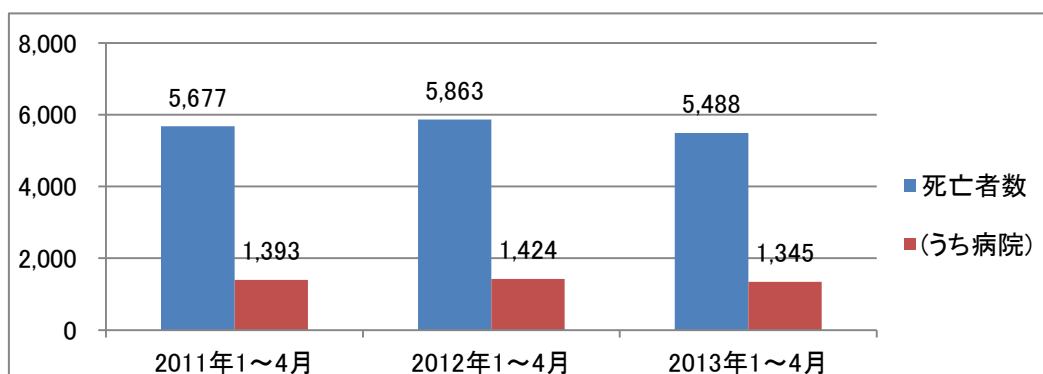


(出所) 国家統計局月報

同期間における伝染病感染者数は、前年同期比 5.6%減の 1 万 4,457 人だった。このうち、流行性耳下腺炎（おたふく風邪）が同 3.1%増の 3,233 人、梅毒が同 35.0%増の 2,119 人、水痘（水ぼうそう）が同 89.7%増の 2,109 人、淋病が同 0.9%増の 1,761 人、結核が同 1.6%減の 1,447 人、トリコモナス症が同 3.6%減の 1,388 人、ウィルス性肝炎が同 61.7%減の 1,272 人、赤痢（せきり）が同 21.5%減の 317 人だった。

全国の死亡者総数は同 6.4%減の 5,488 人だった。このうち、病院での死亡者数は同 5.5%減の 1,345 人と全体の 24.5%を占めた（図 17 参照）。なお、同期間に病院で入院あるいは治療を受けた患者数は同 0.3%増の 25 万 5,200 人であった。

(図 17) 全国の死亡者数 (単位: 人)



(出所) 国家統計局月報

4. 2013 年7～10 月の予定

- 7 月 11～13 日 ナーダム祭り（祝日）
- 9 月 2 日 Green Mongolia 2013（於・Blue Sky Tower、ウランバートル）
- 9 月 3～4 日 Invest Mongolia 2013（於・Blue Sky Tower、ウランバートル）
- 9 月 12～16 日 Ulaanbaatar Partnership International Trade Fair 2013
（於・Misheel Expo Center、ウランバートル）
- 9 月 19～21 日 Mining Mongolia 2013
（於・Buyant Ukhaa Sport Complex、ウランバートル）
- 10 月（未定） Leather and cashmere wool exhibition 2013
（於・National Exhibition and Convention Centre Exhibition Hall、
ウランバートル）